

大和川中学校 第3学年 英語科 指導案

大阪市立 大和川中学校

授業者 矢島 智子

TT 和田 愛希恵

1、日時 平成30年10月10日(水) 14:00~14:50

2、場所 大和川中学校 3年2組(2階)

3、学級 3年2組(30名)

4、教材観・指導観 New Horizon English Course 3

Unit4 “To Our Future Generations”(pp.58 - 67)

東日本大震災以降、世界で多くの災害が起こっている。自国の災害の教訓を海外に伝えて行くこと、また震災の記憶を風化させずに語り継ぐことの重要性を説く内容です。

5、生徒観

本年度4月より担当するクラスである。主体的に行動し、対話力を高め、互いに学びあう関係作りができつつある。そしてペアワーク、グループワークを積極的に行うことで、英語に対して苦手意識をもつ生徒に協力する姿勢が育ってきている。また本クラスは、授業者が担任するクラスである。

6、単元の目標

- (1) やり方やすべきことについて述べることができる。
- (2) 人にとって必要なことや難しいこと、人にしてほしいことを述べることができる。
- (3) 自分と友達についてさまざまな情報をたずねたり伝えたりすることができる。

7、単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
(言語活動への取組) ・既習の知識などを用いてそれぞれの取り組みに対し、理解しようとしている。 ・ペアの英語を聞いて理解しようとしている。また理解できないとき、確認をしたり説明を求めたりしている。	(適切な発話・音読・筆記) ・疑問詞を用いた質問などに正しく答えることができる。 ・相手の理解を確認し、それに応じて話すことができる。	(正確な聞き取り・読み取り) ・相手が尋ねている内容を正確に理解することができる。 ・まとまった量の英文を読み、その内容理解について質問に答えることができる。	(言語についての知識・理解) ・知らない語句を英文の前後から類推し、メモをとって知識を増やすことができる。 ・災害対策について、知識を増やし、自らの経験を振り返る。

※各観点の名称については以下の記述の便宜上、

ア：コミュニケーションへの関心・意欲・態度 イ：外国語表現の能力
 ウ：外国語理解の能力 エ：言語や文化についての知識・理解 とする。

8、単元の指導計画

時限	ねらい・学習活動	評価規準
1	○Unit4-1の本文を読み、災害を思い出し、防災について振り返り、自分の考えを発表する。 ○内容理解についての質問に答える。	ア、ウ、エ イ、エ
2 本時	○Unit4-2の本文を読み、防災の準備について考え、自分たちに必要な防災準備を話し合い、発表する。 ○内容理解についての質問に答える。	ア、ウ、エ イ、ウ
3	○Unit4-3の本文を読み、内容を理解する。	ア、ウ、エ
4	災害の記憶を引き継いでいくことの必要性を考え、発表する。	ア、イ、ウ、エ
5	○Unit4-4の本文を読み、内容を理解する。	ア、イ、ウ、エ
6	○災害の記憶を引き継いでいくために自分たちができることを話し合い、発表する。	ア、イ、ウ、エ
7	○Active1 緊急放送を聞いて、その内容を聞き取る。	イ、エ
	○Active2 さまざまな情報をたずねたり、伝えたりする。	イ、ウ

9、本時について

(1) 本時の目標

災害や防災について知識を深め、震災の記憶を風化させず語り継ぐために自分のできることを考える。

(2) 本時の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
取り組みを理解しようとしている。 わからないことは尋ねたり、調べたりしている。	相手の伝えたいことを理解し、それに応じることができる。	本文を読み内容を理解し、質問を正しく理解することができる。	災害や防災について知識を深め、震災の記憶を風化させず語り継ぐことの重要性を知る。

(3) 本時の授業計画

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
フォーミングアップ (0分)	(チャイムが鳴る前から始めます) 1、ウォーミングアップ ・1～10の2乗の数字をペアで言う。 ・終わったら” We're finished. ”とい い、座って音読練習をペアでする。	・勝った人から先に2乗の答えを言う。終わったら、負けた人も同じことをする。聞き手は1～10の数を話し手に伝える。	・リズムをとりながら発話する。 ・終わったペアは音読練習をしている。

<p>挨拶 (2分)</p>	<p>2、greetings (教師と) Good morning, everyone. 3、greetings (パートナーと) How are you?</p>		
<p>帯活動 (20分)</p>	<p>4、small talk (1分) “What are you going to do on this weekend?”</p> <p>5、本時の目標 授業のルール(10 rules) Keep smiling / English only Eye contact / Pronunciation Compliment / High five Action / Reaction / Gesture Energy Fun phrase for the week Today's Goal の確認 すべて音読する。</p> <p>6、greeting (パートナーと) What day is it today? What's the date today? How is the weather today? What time is it now?</p> <p>7、ワークシートに日付や個人目標を記入し、発表する。※1</p> <p>8、one minute monologue “What makes you happy?” -1分ずつスピーチをする。 -パートナーを変えて、パートナーの話を相手に伝える。</p> <p><班になる> 9、自分が話したことを書きだす。</p>	<p>即興で与えられたトピックで話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに英語を使って話そうとしているか。 ・10ルールを意識している。 ・大きい声で発音できているか、ルールはジェスチャーができていないかを確認する。 ・あいさつ後、プリントの配布を手伝ってもらえるように伝える。 ・パートナーが英語を使ってやり取りをしている。 ・書くときは声を出しながら書くことを指示する。 ・個人目標 2人に発表させる。 ・机間指導 ・事前に用意した mind map を参考に話す。 ・speaker 授業ルール10ルールにそって行われているか ・Listener わからない表現があれば一緒に解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャー、英語を使っている。 ・声の大きさ ・ジェスチャーをしている ・全員が注目し、声をだしている。 ・積極的に手をあげている。 ・英語を使っている。

	(3分)	・文法や単語のスペルに気を付けて書く。	
教科書本文の指導 (29分)	<p>11、教科書の指導 (デジタルテキスト使用)</p> <p>①本文理解 ピクチャーカードを見て聞く。→ T or F をする。→ スラッシュリーディングをして内容を確認する。(一人→班)→</p> <p>簡単な英語で質問し、英語で答える。 <教科書> Is it difficult for Ricardo to imagine an earthquake? - Yes, it is. Why? - Brazil has few earthquakes. Which do you prepare for earthquake? - Flash-light , water, radio, food, canned foods, gloves , portable toilet, cup, evacuation bag, What else do you prepare? - Blanket, a battery of smart phone , flash-light, telephone card, cell phone What do you bring out in case of an earthquake? And tell me the reason. -プリントに書かせる。 -発表させる。 →本文のタイトルを考える。→ 発表する。</p>	<p><個人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからない単語はできるだけ調べず、類推して読む。 ・わからないところはプリントに書き込む。 ・スローラーナーへ声掛け <p><班></p> <ul style="list-style-type: none"> ・班全員がだいたいの内容を把握できるようにする。(スローラーナーへの配慮) ・すぐに答えさせず、班で話し合ってもいいと伝えておく。 ・発表は、英語でも日本語でもいいことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班でコミュニケーションがとれている。

まとめ (1分) 終わりの あいさつ	12、本時の feed back をする。 See you , everyone.		
-----------------------------	--	--	--

※1 手を挙げるとき、生徒たちはグー・チョキ・パーのサインを使い分ける。サインのそれぞれの意味は「パー：是非発表したい」、「チョキ：ちょっと自信がないけど発表してもいいかな」、「グー：自信がない。」

※2 スピーキングの達成度は学期ごとに1回、プレゼンを個々にさせて評価する。評価の仕方として質疑応答や感想を聞き手による評価と考慮する。